



海外英語研修 in CANADA



町教育委員会は、国際的な視野を持ち、町の未来を支える人材の育成を目的に、カナダ・サレー市で英語研修を実施しました。

期間は7月28日から8月6日までの10日間で、義務教育学校の8年生22人と高校生3人が参加しました。参加者はホームステイを通じて現地で生活しながら実践的に英語を学び、異文化への理解も深めました。



地元の学生と交流

分らない、苦手だからとすぐに翻訳アプリなどに頼ろうとするのではなく、まず自分の分かる範囲で伝えようとしてみるのが英語の上達と自信になることが分かりました。

カナダ研修や日常生活を通して、分らない、苦手だからとすぐに翻訳アプリなどに頼ろうとするのではなく、まず自分の分かる範囲で伝えようとしてみるのが英語の上達と自信になることが分かりました。



三ツ星学園 8年
Yuta Nakamura
中村 優太

私はこのカナダ研修をより多くの人と関わりを持つことを意識して過ごしました。現地の先生の授業では、日本語で説明はなく、英語を聞いて自分たちの力だけで進めていくようなスタイルでした。そのため先生が言ったことを周りと共有しながら進めていくことがとても重要でした。学校最終日のフェアウエルパーティーには、ホストファミリーや韓国の学生が参加してくれました。参加者を楽しませるには英語で話しかけるという高い壁がありました。文法が完璧でなくても分かる範囲で単語を並べ、伝えようとすれば自分の思いは伝わるということが実感できました。英語でスピーチしたことはすごく緊張したけれど、とても良い思い出になりました。



光の森学園 8年
Yuki Omura
大村 優綺

私はこの10日間でたくさんの方を経験しました。英語だけの環境に慣れず、買い物や体験で困ることがたくさんありました。それ以外に、食文化の違いが私を成長させてくれるきっかけになりました。

ホストファミリーの家で食事が口に合わないことが多くありました。初めはサポートをしてくださった方に伝えてもらっていましたが、途中から自分の言葉で伝えました。カナダへ行く前に目標にしていた「コミュニケーションの向上」や「英語で会話することの楽しさを知る」ということが達成できたと思います。コミュニケーションの向上では、発音がうまくできなくても自分の言葉で話すことで達成できたと思います。英語で会話することの楽しさを知るといふ面では、会話が弾んだ時、話していることを理解できた時、理解してもらえた時にもっと話したいと思えたので達成できたと思います。この経験を普段の授業や、観光客が多いこの町で生かしたいです！